



世界への  
プレゼントに  
なろう

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

# WEEKLY REPORT

No.2835 2016年3月7日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目 8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内  
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30  
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室  
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

## ★点 鐘

卯野福弥会長

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

司会 海後宗郷SAA

## ★ビジター紹介

卯野福弥会長

水戸東RC 木村 利様

## ★出席報告

榎木直行委員長

会 員 数	31名
出 席 者	16名
欠 席 者	13名
出席免除者	2名
メイクアップ	3名
出 席 率	65,5%

## ★会長挨拶

卯野福弥会長

「2・6・2の法則」別名（働き蟻の法則）って聞いたことありますか？

人間が集団を構成すると、『優秀な人が2割、普通の人が6割、パッとしない人が2割』とい

う構成になりやすいという法則です。例えば、集団で何らかの活動をする時、2割の人が率先してリーダーシップを発揮し、6割の人が、そのリーダーシップに引っぱられて働き、2割の人が、ボーっとしているという傾向があるといわれます。次に、その2割のサボった人達を除いて、残りのメンバーだけで同様の活動をする時、やはり、メンバーの中の約2割の人が、新たにサボり始めます。逆に、サボった人ばかりを集めてグループを作り、活動をさせると、その中の約2割の人がリーダーシップを発揮し始め、6割の人は、それに引っぱられて動き始めるそうです。これは、優秀な人ばかりを集めてグループを作った場合も同様で、6割は普通に動き、2割はパッとしないといえます。

スポーツの世界でも、お金をかけてスタープレイヤーを集めても、ズバ抜けて強いチームができるわけではないというのはこういうことなのでしょう。もし皆さんの会社でボーっとしている人が少なからずいるとすれば、実は自然が作り出した微妙なバランスの上に存在しているのかもしれない。

実は、生物の世界にも、似たような現象があります。アリは働き者というイメージがありますが、数%のアリは、働かずにふらふら遊んで

いるそうです。そして、このふらふらしていたアリたちだけを集めて別の場所に移して、しばらく観察していると、その中の数%のアリだけがふらふらと遊び出し、他のアリたちは働き者に変身するそうです。逆に、働き者のアリばかりを集めて集団を作っても、まもなく数%のアリは遊び出すといいます。この数%という比率は、いつも変わらないそうです。

せめてロータリークラブだけは、「2・6・2の法則」に当てはまらないようにしていきたいものです。

## ★委員会報告

### ニコニコボックス委員会

榎木直行委員長



金子貞夫会員……50数回目の結婚記念日を迎えました。ありがとうございます。

## ★卓話

卯野福弥会長

「東日本大震災の出来事を後世に伝えよう！」



甚大な被害を受けた東日本大震災から5年目を迎えようとしています。どなたもあの時の記憶が生々しく残っていることでしょう。平成23年3月11日（金）午後2時46分、太平洋三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生しました。福島第一原子力発電所は地震・津波の影響を受け、あの原子力事故が起きてしまいました。

あの時、私は小学校時代の同級生と勝田ゴル

フでプレーをしていました。「ゴーオツ」というこれまで聞いたこともない大きな音が、遠くの方から聞こえてきたと同時に激しい揺れを感じました。立ってられないほどの揺れだったため、思わず芝生に這いつくばってしまいました。池のすぐ近くにあるバンカーに目をやると、口を開けたようにぱっくりと割れていました。これらの状況から只事ではないと思い、急いで家に帰ることを考えました。しかし、ゴルフバックを乗せたカートは停電のため動きません。そのためカートからゴルフバックを下ろして駐車場へと急ぎました。自宅に着くまでは、車の大渋滞でなかなか自宅にたどり着くことができませんでした。電話も繋がらず自宅に着くまで気が気ではありませんでした。やっとの思いで自宅にたどり着きましたが、大谷石の外塀は無残にも崩れ落ち、部屋には壁の破片や食器棚から落ちた食器等が散乱していました。家のこともさることながら、当時自治会長をしていたため何人かの役員たちと一人暮らしの老人宅を見回ったりもしました。ある家では倒れたタンスを元通りにしてあげたり、防災倉庫からポリタンクをあるだけ持ち出して水を届けたりもしました。あの日のことを思い出すと、いろいろなことが頭をよぎります。皆さんもあの時のことを思い出すと、いろいろなことが思い出されることと思います。

この東日本大震災の被災状況害については、警察庁のまとめによると死者15,893人、行方不明者2,567人（2015年11月10日現在）、避難者190,541人（2015年10月8日現在）という数字が出ています。このように、東日本大震災では数多くの人たちが亡くなられたり被災されました。被災された方々は、復興への長い道のりを覚悟しながらも、必死にがんばっています。現在もなお、このような人たちがまだまだいます。にもかかわらず、最近はメディアで取り上げることも少なくなり、時が経つにつれて風化してきているように思います。そして、被災地支援はおろそかになり、防災意識も弱まって来ているように思います。

今日の卓話は、私の撮った写真と知人からいただいた写真をスクリーンに映し出しながら、5年前の那珂湊のあの日のことを辿ってみたいと思います。そして、あの日の出来事を後世に伝えていけたらと思います。



2011・3・11

# 東日本大震災を振り返る

～震災後5年にあたって



津波が押し寄せた東本町



給油を待つ長い車列



避難所の様子 (那珂湊第二小体育館)



津波により護岸に乗り上げた漁船と陥没した岸壁





給水を待つ人々 (ヨークベニマル)



くねくねに曲がったひたちなか海浜鉄道湊線



檀原神宮の鳥居が倒れる



ひさしや壁が破損したふるさと懐古館



### 水門帰帆 (みなとのきはん)

ひたちなか市役所那珂湊支所の近くに、水戸八景の一つ「水門帰帆」の碑があります。碑のある高台からは、東に太平洋、南に鹿島灘、西に筑波山、遠くに日光の連山を眺望することができます。絶景の場所です。那珂川は、明治時代まで、碑の下、現在の海洋高校の辺りを流れており、白い帆の出船・入船を見降ろすことができました。碑は、もともと現在地よりも若干前方に所在しており、明治期と大正期に改修され現在に至っています。

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」